

第2次弥富市総合計画策定のための

市民ワークショップ。

みんなで考えよう！弥富の未来

まちづくり提言集

平成29年12月

1. 市民ワークショップの概要

(1) 目的と役割

本ワークショップは、新しい総合計画の策定にあたり、市民の皆さんが主体的に学び、話し合いをしながら、市民と行政が協働で取り組む『これからの弥富市のまちづくり』について検討し、具体的な提案をいただくために設置しました。

また、上記の目的から、本ワークショップの役割を以下のように捉えました。

- ①弥富市のまちづくりに対して、市民の皆さんが日頃から抱えているまちづくり課題を解消するために、また、市民の皆さんが理想としているまちを実現するために、市民の立場に立った具体的な解決方法や提案事項を検討すること。
- ②重点的に取り組むべき課題について「まちづくりテーマ」に沿った話し合いや意見交換などを行い、グループとしての意見を集約し、『提言集』としてとりまとめること。

(2) 参加者

公募による参加を中心とした、計 38 名の皆さんが出席しました。

(3) グループと討議テーマ

グループは、それぞれ6つのグループに分かれて討議を行いました。

	テーマ	検討した事項
1	都市整備	市街地整備、住宅、道路・交通、情報・通信、港湾整備 など
2	生活環境	環境対策、上下水道、公園・緑地、消防・防災、防犯、交通安全 など
3	保健・医療・福祉	健康づくり・医療、福祉、子育て、社会保障 など
4	教育・文化・スポーツ	学校教育、生涯学習、スポーツ、文化・芸術、国際交流 など
5	産業	農水産業、工業、商業、観光レクリエーション など
6	人権・協働・行財政	男女共同参画、コミュニティ、協働のまちづくり など

(4) 開催日程と実施内容

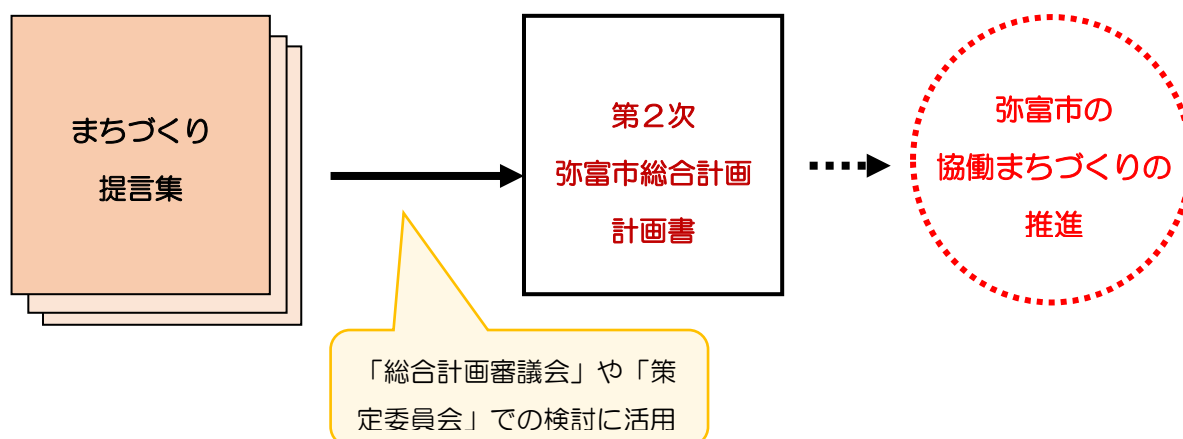
市民ワークショップは、以下の日程と内容で実施しました。

回	開催日時	内 容
第1回	10月4日(水) 午後7時から	○オリエンテーション ●グループワーク 弥富市の現状・課題の検討「弥富市の良いところ・悪いところ」
第2回	10月18日(水) 午後7時から	●グループワーク グループ別まちづくり提案 「良い点を伸ばし、悪い点を改善・克服するためには？」
第3回	11月1日(水) 午後7時から	○グループ別まちづくり提案の中間発表 「まちづくり提案をみんなで点検」
第4回	11月15日(水) 午後7時から	●グループワーク 弥富市の目指す将来像の検討

(5) ワークショップの成果

全4回で話し合った結果として生まれた意見・提言は、「まちづくり提言集」として集約し、第2次弥富市総合計画策定に係る「総合計画審議会」や「策定委員会」での検討に活用します。

さらに、この「市民ワークショップ」での活動を契機として、市民主体によるまちづくりの取り組みが今以上に活発化していくことが期待されます。



2. まちづくり提案

<1グループ> 分野：都市整備

《メンバー》 樋口 久 伊藤 弘之 山口 和博
竹森 大介 山田 幸正 犬飼 良介 佐藤 仁志

1) 私たちからみた弥富市の良いところ・悪いところ

良いところ 【ベスト3】	悪いところ 【ワースト3】
・広域アクセスが良い ・適度に人が増え、優しい人柄	・南部からの市内のアクセスは悪い ・港湾整備、液状化現象 ・商業施設が少ない

◎良いところ

交通 ○ 名古屋へのアクセスが良い。名鉄、JR、近鉄、高速が充実している ○ 高速道路や近鉄やJRなどがあり、比較的交通の便が良い ○ 名古屋までの距離が近い ○ 広域的にはアクセスは良い	住宅 ○ 住宅がたくさん建ち始めた ○ 親しみやすい、人的差別が少ない その他 ○ 高速道路の高架が災害時、有効
---	---

▼悪いところ

生活 ● 電灯が未整備の地域が多い ● 市街化区域（面積）が少ない ● 商業施設がない。特に南部地域 ● 若者が住みやすい環境（人口減少） ● 飲食店が少ない	交通 ● 市内のアクセスは悪い ● 駅周辺の交通が不便 ● 市街地の方の道幅が狭い ● 弥富市北部は交通アクセスが良いが、南部は、車がないと生活できない ● 道路の整備。交通手段があまりない。きんちゃんバスが不便である
防災 ● 港の整備をしてほしい。樋門が地震時、津波で転倒する ● 全域液状化する。建物だけでなく道路、橋など交通網が寸断される ● 防災対策に不安が多い ● 津波・高潮等で長時間浸水して、広域避難しなければならない ● 雨水排水が日光川のシステムを通さないと一滴も出せないで、非常時にリスクが大きい ● 基礎杭が40m以上必要で、高層建築が困難 ● 港が近いので、防災対策を考えて欲しい。避難所等 ● 公共施設の床高が海拔0mしかないので、大潮の満潮時に浸水してしまう	
その他 ● 観光スポット・名所が少ない	

2) まちづくり提案（良いところを伸ばし・悪いところを改善するために）

①安全安心の都市基盤づくり	◇ 日光川から排水するポンプ所や堤防の治水安全性を高める ◇ 老朽化した水門・防潮堤の改善・補修を緊急に行う ◇ 大災害に備えて、復旧・復興を前提に関係機関と事前から調整する ◇ 関係機関と調整し、港湾の整備を促進する ◇ 避難所の充実と増設をする
②市民が主体となって避難所毎の地区防災計画を策定する	◇ 市民が主体となって地区ごとに市民防災実態調査を行う ◇ 地区ごとに市民が主体となって、防災ハザードマップを作る ◇ 市民が主体となって避難所に収容するエリアを決める ◇ 避難所毎に地区防災計画を市民主体で作成する ◇ 広域避難に向けて各家庭の意向調査と市民参加の計画づくりを進める ◇ 災害後も「住み続けたいと思えるまちづくり」を事前に取り組む ◆ 防災マップづくりはゲーム方式にして多くの参加を促す ◆ 小学校コミュニティ相互で活動を連携する
③実態調査	◇ 弥富市は地盤が緩いので、高層建物の基礎の安全性調査を行う ◇ 液状化の可能性と被害予想の実地調査を行う ◆ 災害に備えて、土地の境界と所有者の明確化する公共地籍調査を行う
○にぎわい空間づくり	◇ ホームページやメディアを使って名古屋へのアクセスの良さをアピールする ◇ “人が良い弥富”をアピールするためホームページに市民インタビューのページを作成（動画をアップ）する ◇ にぎわい効果のある施設をアンケートで調査し企業誘致を進める ◇ 競馬場の移転先に商業施設を誘致する ◇ 商業施設が少ないので、市民が良く使う施設について SNS でアンケートを取って、アンケート結果をもとに企業誘致を進める ◆ 防災フェスをイベントとして行いより多くの参加を促す ◆ 地区ごとの祭りが盛んだが、弥富市全体のまつりを行う ◆ まちづくりをゲームで行う ◆ 駅の近くは地域コミュニティの行事に人が集まらない
○管理体制の充実	◇ 夜間などの災害時に無人となっている水門の管理を 24 時間体制にする
○交通アクセス改善	◇ きんちゃんバスの本数を増やしたりして、南部のアクセスを改善する ◇ 南部地域の交通手段としてボランティアバスの運行を検討する
○南部地域の住環境整備	◇ 若者世帯の駅周辺への流出をどうするか（南部地域） ◇ もっと若者が住みやすい環境作りをする。 ◇ 若者の人口を増やす為、市街地を増やしたいの？ ◆ 市街地に居住する市民が畑、田んぼに関わる手立てが欲しいので、体験型市民農園（あまから塾のような取り組み）を整備する

※◇はグループのメンバー内で話し合っ出た意見を表し、

◆は他のグループのメンバーも合流して話し合っ出た意見を表しています。

○取り組む姿勢、体制づくり	◇ 市民が当事者意識を高めるためには、調査が良い刺激になる ◇ 市民が率先して自ら汗をかくて調査検討したまちづくり提案は、役所内部の職員を刺激し、お役所仕事の姿勢の進化と組織力強化に繋がる ◇ 事前の現状調査と課題共有により、より早い災害復興をめざす ◇ 避難所などの運営を検討していくと、なりゆきで肥大化した自治会などは、区割の見直し（分区）もありうるのではないか ◇ 画一的な上から目線の指示で動くのではなく、各地区が自主的に調査することにより、地区独自の課題に対応した案ができる ◇ 独特な案の良い点は他の地区でも活用できる（トップランナー方式） ◇ 新総合計画をしっかりとつめていけば、いざという時の復興まちづくり計画の骨子となる、復興の骨子となりうる市民参加型の総合計画を復興まちづくりビジョンとして作成する ◆ 都市整備は、個人的な思い付きを要望とするだけでは説得力に欠けるので難しい。逆に、当事者意識をもった地域住民が、実地に調査しデータを積み上げれば、市役所で机の上で業務をしている市職員よりも、実際の提案が可能である。今回のような市民参加の常設化が必要
----------------------	--

★特に重点的に取り組むこと

- ①安全安心の都市基盤づくり
- ②市民が主体となって避難所毎の地区防災計画を策定する
- ③住環境、交通、にぎわい、防災などについて、市民、民間、役所が協力して実態を調査する

3) 「都市整備」分野における弥富市の目指す将来像

市民が提案する住みよいまちづくり

（説明）

- 弥富市は南北に長く各地域の特性（交通、人口、災害など）は様々であるため、実効性の高い「まちづくり提案」を作成する為には、地域住民による地域ごとの調査と提案を土台にして、市全体で多様性をもった案をまとめていくべきである。
- 市民による実態調査と提案検討過程は、より多くの市民の「市民の防災意識と参加意識」を高め、市民全体でまちづくりの方向性を共有し、参加を強化し、実効性を高める。
- 下からの積み上げによる提案は行政施策の重点化と国・県などの行政機関の連携と事業執行の迅速化を促す効果が期待される。
- 弥富市特有の地震、液状化、台風、高潮、水害という構造的な課題を共有し、各地区（避難所）ごとに、身の回りの危険性や利便性などについて、市民が現地を調査し、自ら住民アンケートを行うなど、地区ごとの課題を明確化し、自治組織ごとにハード・ソフト両面のまちづくりの提案を「地区（避難所）の防災計画」として住民参加で策定し共有する。
- 各地区の「まちづくり提案と防災対策」からより優れたものは、模範例として他の地区など市全体に広げる（トップランナー方式）ことによって、より効果的な「住みよいまちづくり」を目指す。



第1回ワークショップのようす



〈2グループ〉 分野：生活環境

《メンバー》

瀧 健人 齋藤 司 村上 久弥
久野 仁 加藤 幹夫 田口 常代

1) 私たちからみた弥富市の良いところ・悪いところ

良いところ 【ベスト3】	悪いところ 【ワースト3】
・ 静かな環境 ・ コンパクトシティ（ただし市街化区域のみ） ・ ごみ集積所の多さ	・ 災害時の避難場所 人とモノ（備蓄） ・ 道路が狭い。車道・自転車道・歩道 ・ 下水道が少ないから、水路が多くて、蚊が多い

◎良いところ

南北格差

- コンパクトシティ

道路

- 道が広がった

その他

- 交番が2つ。駅近辺、インター近辺
- 人柄が良い
- 0（ゼロ）の日の交通安全ボランティア（？）の人がいる
- 静かな環境
- 静か

ごみ集積所

- ごみ捨て場が多い
- ごみ収集が徹底している
- 新しいごみ集積所

下水

- 下水道の区域拡大

災害

- 坂がない

▼悪いところ

南北格差

- 広くて、弥富全体がつかめない
- 交通網の不足
- 車がないと不便な地域が多い
- 南北格差

道路

- 道路が狭い
- 住宅地の狭い道
- 歩道が狭い

災害

- 災害時に割り当てられている学校等にどれ位の人が避難できるのか（スペース、備蓄量）
- 災害（水害・津波）時の逃げ場が確保されているか不安

ごみ集積所

- 道路の端がごみ集積所

下水

- 浄化槽の地域
- 下水道がない
- 水路
- 蚊が多い

その他

- 公園の草が多く、夜は不安
- 公園が少ないのでは
- ヒアリ
- 遊べる施設が少ない

2) まちづくり提案（良いところを伸ばし・悪いところを改善するために）

①避難場所防災	◇ 災害時の避難場所、避難者数に対して収容率は不足しているため、各町内にて人口構成を把握してマンションビルなど縦移動横移動にて収容を図る ◇ 避難場所（ハザードマップ）の周知をする ◇ 日中の住人の年齢別構成・人数を町内会で把握する ◇ 避難場所の民間への協定依頼をし、その周知にも力を入れる ◇ 災害に対する認知度が低いので、広報活動や、小学校等での講演を行う ◇ 各避難場所の何人・何日分の備蓄量をアナウンスする ◇ 日中の避難ルート、声かけ訓練をする ◇ 夜中の避難訓練をする ◆ 避難場所、避難経路を通るイベント（マラソンなど）を開催する ◆ 市のアナウンスが聞きとりにくいので、方法を改善する ◆ 栄南地区、長期避難場所がない ◆ 短期・長期別避難場所の案内を1～2年毎にする ◆ 学校と地域市民との合同訓練する ◆ 市からの放送が各家庭につながるようにする ◆ 避難場所を Web で見られるようにする ◆ 防災メールで簡易避難経路を送る ◆ 位置情報から経路が確認できるようにする
②コンパクトシティ	◇ 北側に人を集める ⇔ コミュニティバスの改善。大きな拠点には大きいバスで、大きな拠点を中心に小さいバスで運行する ◇ 交通網の格差の改善をする。信号のないところが多くて危険、歩道も整備する ◆ 駅の再開発、サービス付き高齢者向け住宅の建築などを進める ◆ 南側の開発を進める ◆ 南地域の農地管理の拡充をする
③自主防災	◇ 夜中の避難ルート・手段の家庭内の話し合い ◇ 備蓄食料、非常持ち出し袋など ◇ 住民の意識改革 ◆ 近所の人が集まれるイベントを ◆ 弥富の全学区の交流 ◆ 近所とのコミュニケーションを強くする ◆ 弥富市全体の祭り
○防犯	◇ 静かな環境（短所でもある？）⇒街灯を増やす ◇ 珍走族の取り締まりの強化 ◇ 道路が狭い！→事故に繋がる（小中学生特に）ボランティアを募り朝の時間見守り
○美化・衛生	◇ 公園の草が多いので、小中学生の地域貢献の一貫として清掃活動を行い、まちを綺麗に&地域愛へつなげる ◇ 資源ごみ置場をそれぞれのごみ集積所に

※◇はグループのメンバー内で話し合っただけの意見を表し、

◆は他のグループのメンバーも合流して話し合っただけの意見を表しています。

OPR	◇ 人柄が良く、ボランティアも活発。立地も良いので、「住みやすいまち」をアピールする ◇ 遊べる施設として海南子供の国等で定期的にイベントを開催するなど、子育て世代へのアピールをする
○空き家対策	◇ 空き家から獣害につながる恐れがあるので、空き家を減らす意識を持つ ◆ 空き家主と連絡が取れない場合、問題が大きくなってしまうこともあるので、近隣・地域でのコミュニケーションを意識する ◆ 空き家条例の制定
○下水道	◇ 水路整備ふた付きU字溝の導入 ◇ 下水道の普及、浄化槽から下水へ、費用が高いため、補助の拡大 ◇ 道路が狭い。区により家の密集地（古い町並）の道路が狭く家が建てこんでいる。→空き家が多くなり、土地改良を行い、区画整理を実施。新しい町並を作る。行政の積極的介入 ◆ 用水路にふたをして交通の便と安全確保を ◆ コストと市の強いイニシアティブを要する



★特に重点的に取り組むこと

- ①避難場所の見直しと周知徹底
- ②コンパクトシティの推進
- ③近所とのコミュニケーションを強くするイベントの企画

3) 「生活環境」分野における弥富市の目指す将来像

安心なまち 便利なまち 楽しいまち やとみ

(説明)

- 防災（行政側からの防災と自主防災）が最も関心が高く、ウィークポイントでもある。
- コンパクトシティとしての便利さをめざす一方、広い範囲に住む人が動きやすい便利さを目指す。それらを楽しく進めたい。



第2回ワークショップのようす



＜3グループ＞ 分野：保健・医療・福祉

《メンバー》

寸田 充紘 佐藤 和子 近藤 洸史
加藤 久士 梅野 美香 安井 映理子

1) 私たちからみた弥富市の良いところ・悪いところ

良いところ 【ベスト3】	悪いところ 【ワースト3】
- 健康づくりの意識が高い - 子育て支援が充実している - 日本で唯一の市民ボランティア団体	- 健康づくりの拠点が少ない - 情報提供の機会が少ない - 病院・学校のアクセスが不便

◎良いところ

医療提供

- 医院が多い
- 急性期病院がある

子育て支援

- 海南子どもの国など、子どもの遊び場が多い
- 保育料安い
- 病児・病後児保育がある
- 待機児童が少ない

取り巻く環境

- 行政が行っている市民ボランティア団体がある
- 医療、福祉、介護の連携がスムーズ
- 高齢者のサロンが充実してきている
- 中学生まで医療費無料

健康作り

- 市民独自でラジオ体操
- 健康の取り組みがしやすい
- 自然が豊か？
- 市民の健康づくりに積極的

▼悪いところ

情報提供

- 情報提供の機会が得にくい

子育て支援

- 放課後児童施設の開所時間の短さ
- 男性保育士、保育士が少ない
- 交通の便が悪い。特に南部、学校遠い

健康作り

- スポーツセンターが駅から遠い。拠点が遠い
- 健康づくりの知識、意欲が市民に伝わっていない

子ども・高齢者を取りまく環境

- 認知症の人が増加
- 弥富市でも少子高齢化が進んでいる
- 元気な人達だけでなく、弱者にも手厚く！
- 高齢者、障がいを持つ人、子どもの交流が少ない

医療提供

- 慢性期病院が少ない
- 往診してくれる医師が少ない
- 受診するための交通手段が少ない

2) まちづくり提案（良いところを伸ばし・悪いところを改善するために）

①よろず相談、医療、福祉情報提供	◇ 急性期病院を退院してから不安になる ◇ 退院した後の情報を教えてもらう ◇ 発信が堅苦しい ◇ 開業医・歯科医・薬局等の情報マップ作成 ◇ 何でも相談できる課をつくる（すぐやってくれる） ◇ 役所に「何でも相談課」を作る ◇ 役場のホームページをわかりやすく、要望によつてのトピックス ◇ SNS で情報提供の場を増やしていく ◇ 健康づくりの情報提供（どこで何をやっているか） ◆ 高齢者 IT 教育 ◆ やとみ知恵袋を作る ◆ サイト、困ったら！！OK 金ちゃん ◆ 何でも屋や難しい→ICT 化、OK 金ちゃん ◆ 情報発信とコミュニティ作り ◆ 医療・福祉に強いまち PR
②異世代交流・健康作り	◇ 海南子どもの国以外の場所でも何かイベントは？近くの公園でも ◇ 各公園で老いも若きもラジオ体操を ◇ 子どもの体力低下（ラジオ体操、夏休み以外も行う） ◇ 高齢者・障がい者を持つ人、子供の交流を図る ◆ きんちゃん体操をもっと広めてく ◆ 学校との連携→地域清掃 ◆ 緊急時の対応にもつなげる ◆ 日頃のつながり ◆ 学校との連携（介護科の高校もあるので）
③誰にも優しい医療提供	◇ 自宅医療の IT 化 ◇ 在宅医療、往診医や歯科、薬剤師の自宅訪問をすすめる ◇ 派遣で医師のサービスを提供できるようにする ◇ 玄関からの乗り合いタクシー（ふれあいタクシー）
○マルチ対応子育て支援	◇ 子育てへの補助金など支援制度の充実 ◇ 放課後児童施設の開所時間の延長 ◇ 男性保育士の育成 ◇ 病児・病後児と保育所の併用 ◆ 具体的なホームページ（個別の） ◆ 困り事ホームページ
○あなたも私もボランティア	◇ 市民ボランティア団体の知名度を上げる ◇ すべての人がボランティア活動を行うようにする ◆ 情報伝達ボランティア ◆ 見守りボランティア、若者 ◆ 行政ポイント付与（マイキープラットフォーム） ◆ ボランティア勧誘
○協働をとりまく環境	◇ 市民ボランティア団体の拡大及び活用、「学生」「企業」 ◇ 認知症サポーター養成

※◇はグループのメンバー内で話し合つて出た意見を表し、

◆は他のグループのメンバーも合流して話し合つて出た意見を表しています。

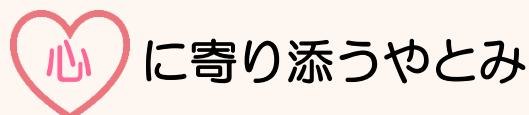
○居場所を とりまく環境	◇ 星の数ほど交流サロンをつくる（情報を提供） ◇ 全ての人が集う居場所 ◇ 公民館、集会所を活用。寺子屋、café
○高齢者を とりまく環境	◇ 高齢者に優しいまちづくり ◆ 農業 IT 化支援 ◆ 高齢者専用のアパートやマンションを作る
○子どもを とりまく環境	◇ 子どもの遊びの場とスポーツ施設を併設 ◇ ショッピング施設などと公園との併用 ◇ 子育てを優しくできる ◇ 婚活に力を入れる
（大項目なし）	◆ まちの電子マネー化



★特に重点的に取り組むこと

- ①OK！金ちゃん（具体的困り事 HP）
- ②ラジオ体操（異世代交流）
- ③ボランティアでポイントを貯めよう

3) 「保健・医療・福祉」分野における弥富市の目指す将来像



（説明）

- ♡困り事解決（みんなで作ろう OK！金ちゃん）
- ♡異世代交流
- ♡協働のまちづくり（ボランティア）



第3回ワークショップのようす



＜4グループ＞ 分野：教育・文化・スポーツ

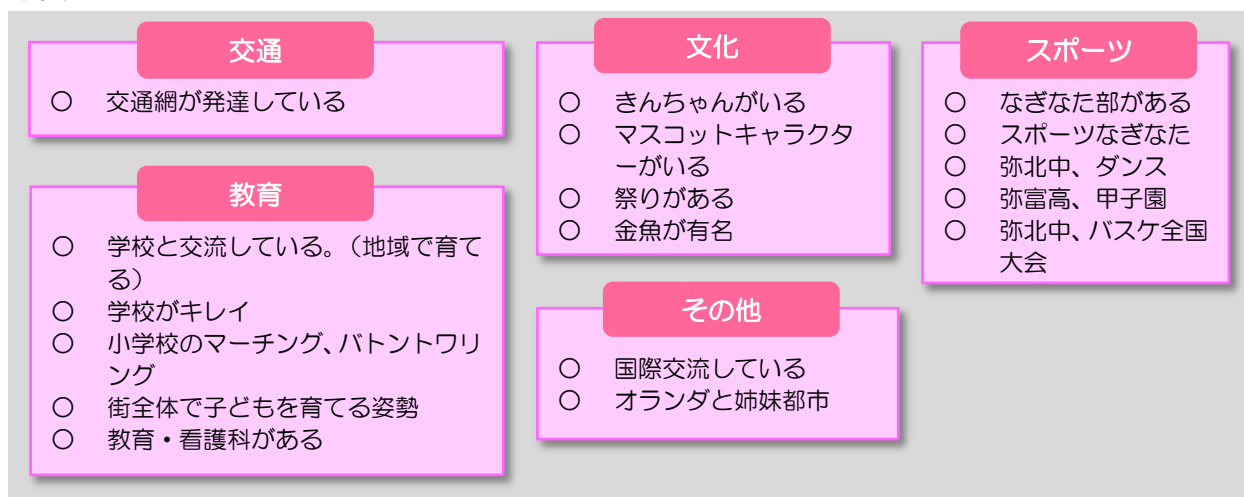
《メンバー》

葛西 博昭 高田 敦也 伊藤 竜也
小島 教志 伊藤 公一 道越 彩花 谷 侑香里

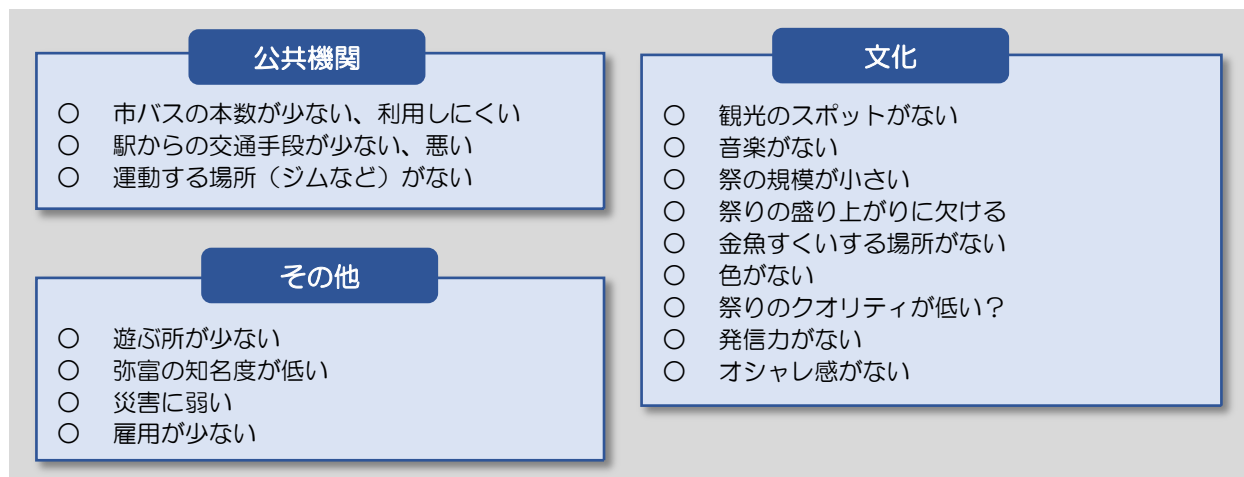
1) 私たちからみた弥富市の良いところ・悪いところ

良いところ 【ベスト3】	悪いところ 【ワースト3】
・金魚 ・子どもを育てる姿勢 ・国際交流	・発信力不足 ・観光スポットがない ・金魚

◎良いところ



▼悪いところ



2) まちづくり提案（良いところを伸ばし・悪いところを改善するために）

①SNS の活用	◇ インスタ映えするものを ◇ SNS を活用する ◇ YouTube でチャンネルを作る ◇ ネットで検索したくなる話題作りがほしい ◇ 市民一人一人が少しずつでも SNS を使い弥富をアピールする ◆ インスタ映え（奈良県の電話ボックスみたいな）→他にない金魚の見せ方 ◆ 具体例：金魚の移動式の水族館、トラックなどで移動、全国巡る、期間限定 ◆ 高齢者向け IT 教育（パソコンを中心に） ◆ QR コードも活用→施設の説明
②子育てしやすいまちアピール	◇ 住みやすさアピールで人口増にできないか ◇ 子育てがしやすい街をアピールする（地域の温かさ、待機児童〇）→公共交通機関の広告 ◇ 待機児童〇をもっとアピールする ◇ 適度に栄えたまちアピール ◇ 保育所の耐震対策に力を入れている ◆ なぎなたのまちとしてアピール→なぎなた部を全小中学校に ◆ 保育所外部委託、教育→制度自体を見直した方が… ◆ 陸上トラック整備（400 メートル） ◆ バスケットも強いので（弥富北中学校）、一流選手のバスケット教室→主に中学生 ◆ 移住してきた人への特典をつくる（支援事業の充実化） ◆ ゲームをクリアできたら景品をプレゼントする、などといった出し物を駅前ですぐにできたら
③若者（新しいもの【文化など】を作っていく）が参加するまちづくり	◇ マラソン大会をもっとアピール、一大イベントに ◇ 弥富ならではのイベントや文化が少ない ◇ 青年・学生と祭りづくりをする（運営） ◇ 古文化の維持管理 ◇ 地域の祭りをもっと盛大に ◇ 祭りを盛大に ◇ 弥富の学校の成果を発表できる場を作る ◇ 金魚は知っているが、それ以降のイベント等につながらない ◇ いつでも見られる場所を作る ◇ 色々な種類の展示会（金魚） ◇ 近鉄・JRで弥富市開催のイベントの宣伝 ◇ 学校のカリキュラムと連携！（今話題の主権者教育！） ◇ 弥富の街中に金魚を！ ◇ 大規模なイベント、アクアリウムとかで外からの集客を図りたい ◆ アートアクアリウム（常設）を弥富でも。総合社会教育センターをうまく活用←重要！！ ◆ 弥富市内で使えるポイントや通貨などをうまく活用する（仮想通貨など） ◆ なぎなた部を弥富市の全小・中学校に ◆ 体験型農業できるスポット→土地をレンタル

※◇はグループのメンバー内で話し合っただけの意見を表し、

◆は他のグループのメンバーも合流して話し合っただけの意見を表しています。

○外国人に向けた 観光アピール	◇ 世界に誇れる金魚として発信していきたい ◇ 市内のコンビニに金魚を置く ◇ 常に金魚すくいができる場を設ける ◇ 海外の方へのガイドブックへの掲載 ◇ 金魚を使った名産がない ◇ 金魚すくい出来る所を作る ◇ 金魚の店、入りやすくする ◆ 駅前に“金魚会館”のようなものを ◆ 金魚視察プラスゆかたを着るなどのイベント
○外国人の 住みやすいまち	◆ 外国人のコミュニティ作り ◆ 弥富に住む外国人が情報を発信 ◆ インバウンドの取り込みを ◆ 外国人が訪れやすいまちづくり（外国語の表記など） ◆ 弥富に住んでいるという市民のアイデンティティ作り ◆ 国際交流の際に金魚文化を紹介する ◆ 金魚の店を地図で表示する→すぐできる、Google マップ
○メディアへの アプローチ	◇ メディアへのアピールが足りないのでは？ ◇ メディアへのアプローチが必要 ◇ 金魚組合の公式ホームページがない？ ◇ クローバーTVなどローカル番組からまず弥富を取り上げてもらう ◇ ゆるキャラコンテストにもっと参加する ◆ 弥富のシンボルを作る ◆ アニメ、映画とか小説の舞台化できれば。なぎなたのアニメ or ゲーム→ゲーム会社に相談、岐阜日本一ソフトウェア
○（大項目なし）	◇ 弥富を大好きになる！ ◇ 土地の貸出し



★特に重点的に取り組むこと

- ①スポーツ盛んなまちアピール
- ②金魚とふれあえるスポットづくり
- ③市民参加型のイベント

3) 「教育・スポーツ・文化」分野における弥富市の目指す将来像

つながる つなげるやとみ

（説明）

- 人と人、地域と地域、人と地域がつながることで新たな未来につなげるまちづくりをしたい。
- つながることで新しい文化も生まれるし、つながることで学びも深まると思う。



第4回ワークショップのようす①



〈5グループ〉 分野：産業

《メンバー》

浅井 優衣 畠山 実菜美 山本 亮翔
小島 雄一郎 菱田 登 高木 諒

1) 私たちからみた弥富市の良いところ・悪いところ

良いところ 【ベスト3】	悪いところ 【ワースト3】
・交通の便が良い ・誰もが知っている“金魚”がいる ・買い物がしやすい	・観光資源があるが、周知されていない ・農業・工業がピンとこない ・商店が寂れている

◎良いところ

交通の便がいい

- 高速のICが2ヶ所ある
- 大都市圏の名古屋からアクセスが良い田舎で使いやすい（倉庫、工場）
- 名古屋港があり、貿易に長ける（はず）
- 海も近く、工場で生産した物が輸出しやすい
- 宇宙・航空に進出（飛島村かも）
- 雇用が多い
- 立地

買い物がしやすい

- イオン、パティ等があり買物に便利
- 弥富のBICには老若男女皆が集まる
- コンビニがたくさんあって便利

“金魚”は皆知っている

- 皆知っている観光マスコットがいる
- 金魚という誰もが知るものを生産している
- 金魚の生産地として有名
- 金魚の知名度が高い

観光資源がある

- 山、坂がなく観光で回りやすい。木曽川もあり、レクリエーションはしやすい（近くに公園も多い）
- 観光名所がある

農業が盛ん

- 田畑が広がっている

▼悪いところ

交通の便

- 車がないと店も仕事も観光も何ともならない
- 立地

工業 ピンとこない

- 伝統工芸、代表工芸製品がない？（ニッケ？）

観光資源があるが周知されていない

- 目的地にならない名物（目玉）
- 観光地がない
- 市民・市外者問わず「弥富の観光はこれ」が一つもないのでは（友達を呼べない）
- 金魚以外の目玉がなかなか思いつかない
- 金魚を観光名産としていない
- 知名度
- 白文鳥が2農家になってしまい、市の代表産物から消えてしまった、悲しい

商店が寂れている

- イオンタウン一勝ちで、パティや個人商店、駅前商店街がさびれた
- おしゃれな飲食店が少ない

農業が盛んだけどピンとこない

- 荒れた畑が多い（農業担い手）
- 農業って何を？

2) まちづくり提案（良いところを伸ばし・悪いところを改善するために）

①イベントの拡充	◇ 市外へ向けた金魚イベント、金魚は弥富の自慢できる所だと思うので市外の人に来てくれるようなイベントを（アートアクアリウム） ◇ 防災イベント：防災グッズかき集める体験！浸水体験、津波体験 ◇ 人を集めるイベント：夏に日本で一番低い場所だから温度の低い食べものを集める ◇ 防災グッズを独自開発、安心・安全の金ちゃん印？など ◇ 新しいモノ、人にも働きかける ◇ 人口の維持 ◇ 企業を呼びやすくする→商品開発につながる ◆ かきごおりアイス ◆ 金魚すくい大会の復活 ◆ SNS を活用して発信 ◆ B 級グルメを発案 ◆ 歴史、史跡の整備とハイキングコース整備
②地場にある産業の広報	◇ 弥富以外近郊の買物客を増やす ◇ 名古屋から来てふと降りる場所を作って（見つけて）PR。インスタ映え、体験、田舎 ◇ 「都会から近い田舎」を活かす ◇ ここで商売をしたい人を探す ◇ 商店街に特徴を。イオンなどの全国にあるような商業施設とは違った魅力をアピールするとか ◇ 早場米をもっとPR ◇ 弥富固有の特産品の生産とブランド化を行う ◇ 今もメジャーなことを大切に維持する ◆ 弥富のいいところを集めて、「一日弥富体験」を企画する ◆ 道の駅を国道 1 号、155 号に作る ◆ 日曜、駅前でおまつりなど。弥富駅下車を促す ◆ 駅前の充実化、飲食等 ◆ 大須のような商店街を作る
③金魚などの観光地創設	◇ ふらっと来て金魚に触れられる常設金魚すくい、深堀さん美術館 ◇ 人を集める場所道の駅（メインに特産品）、自転車の貸し出し、金魚のアクアリウムなど ◆ 栄南地区に道の駅を作る
企業を呼びやすくする →商品開発につなげる ○商店街活性化	◇ 商店街を弥富のフランチャイズ化、買い占めて外部から出店を募り面白い物を集めて出資 ◇ 商店街を何とかしたい（セレクトショップ、映画館、SOHO など誘致） ◇ 地域に根ざした商売をしやすくする ◇ 地元の人も事業をしやすく ◆ 駅からの動線をつくる、商店街へ ◆ 商店街空き店舗を使って開業してくれる人を募集する（若者で） ◆ シニアショップの開店 ◆ 商店さんをボランティアさんで支えていく
減税の制度で支援 ○国市等との制度交渉	◇ 広大な土地を活用する経済特区に名乗りをあげる（自動運転、ドローン） ◇ IC・港もあり、国内外への流通がしやすく多くの企業への誘致が可能である

○市に関する教育の充実	◇ 広報大使をもって強く活用する ◇ 小～中学できちんと地元を学ぶ ◆ 若い世代に住んで（移住して）もらう工夫
○車を使った観光の充実	◇ きんちゃんバスの活性化 ◇ 交通の便（自動車）を活かしてドライブコースを整備する（公園・施設・店） ◇ 駐車場整備、交通の便が良いのを活かせば来てくれる人が増える ◇ 観光タクシーで回れる仕組みと観光地 ◇ スタンプラリーとか弥富市の観光名所を1つ1つ回って弥富の雰囲気を楽しんでもらうとか
○伝統を守る	◇ 伝統芸能をちゃんとやる→具体的には？ ◇ 伝統工芸をつくる（町をあげて） ◆ 伝統芸能の保存、現状保存会の広報化
○（大項目なし）	◇ 集客の核を作り、観光資源の案内をする
○（大項目なし）	◇ 移住者を打ち解けられるようコミュニティや関わる仕組みのハードルを下げる
○（大項目なし）	◇ 待機児童0をアピール ◇ 行政の力で弥富が持っているものをしっかり PR する



★特に重点的に取り組むこと

①商店街の活性化（大須のように） ②「一日弥富体験」を企画（良い農業、工業、商業に市内外の人が触れる） ③新しい弥富の産業を開発（福祉・子育ての良さ、B 級グルメ、防災グッズ、金魚、金魚以外）
--

3) 「産業」分野における弥富市の目指す将来像

新産業に**テイクオフ**！自信に満ちたやとみ

（説明）

- 今ある産業は伝統として大切に守りつつ、新しい産業にも挑戦したい
- 工業（川重、貿易、情報を発信）で飛びたつ、（土地の海拔が）低い（低空＝テイク）もかけて
- PR できる観光資源を知り、自信とほこりを市民が持つ
- 商店街で新しい事業にもチャレンジできる自信に満ちる



第4回ワークショップのようす②



＜6グループ＞ 分野：人権・協働・行財政

《メンバー》

稲垣 陽光 渋谷 美有紀 鈴木 裕一
松本 脩 澤木 栞奈 熊沢 大

1) 私たちからみた弥富市の良いところ・悪いところ

良いところ 【ベスト3】	悪いところ 【ワースト3】
・コミュニティが活発 ・思いやり精神が根づいている ・自然との調和がとれている	・若い人の力を活かせていない ・連携不足・PR不足 ・おしゃれな街にしたいぞ！！

◎良いところ

弥富いい人多い！

- まじめな人が多い
- 元気な女性が多い気がする
- 近所の人とのつながりが強い（たすけあい）
- 温かい人が多い。募金などでも声をかけてくれる

お祭りが多い！

- お祭りなど各学区や地区で自主的・主体的に行われる活動が多い
- 三大祭りすてき。（春祭り・芝桜祭り・藤祭り）
- 地域の人が集まった「健康フェスタ」近年ゲストの人が良い
- 各種祭りがにぎやか

コミュニティが活発！

- 市民ワークショップがある
- 自治会活動がしっかりしている
- 保存会、青年会などの集まりが各地にあり、活動をしている
- コミュニティが多い
- ささえあいセンターがある！（福祉が充実している）

自然との調和

- 年末の美化活動のとりくみ
- 適度な田舎で住みやすい
- 農業・商業・工業バランスとれた産業構成
- 鮫ヶ地のコスモス畑がすてき
- 川平に美化活動が行われているところがある

▼悪いところ

連携づくり

- 市とコミュニティの連携が少ない？
- 分野の違う連携が出来ていない

おしゃれな街へ！

- 施設がダサイ
- おしゃれ感がない
- デザイン性あるランドマークがない

効果的なPR！？

- 結構良いまちだと思うけど、住んでいる人がそう思っているかな？
- 知る機会が少ない
- 他のコミュニティが何をしているのか知らない
- どこで何を行っているのか分かりにくい

若い人ガンバレ！

- 防災に対する取り組みが甘い？
- 消防団の若い人が入らないので困っている
- 婦人会活動は下火
- 市が元気がない
- コミュニティ活動に若い人があまりいない
- 若い人と中年、お年寄りとの温度差
- 地域によって、保存会や青年会などの集まり

祭りの魅力作り（全国に注目集めるような）

- 春祭りが他地区と被っている
- 他県から来るような祭りはないかな？
- イベントでの市の活性化は？
- 行政のイベントが慣例どおり
- だれもが参加しやすい祭りとは言えない
- 特性を活かしたまちづくりができていない

財政問題（不安）

- 文鳥に対する補助が少ない
- 財政面でH30年度から毎年約5億円以上の赤字が続く
- 芝桜の管理が甘い

2) まちづくり提案（良いところを伸ばし・悪いところを改善するために）

①おしゃれな 情報発信	◇ インスタグラムでハッシュタグをつけて投稿すると、きんちゃんが当たる ◇ 感性のある人達に広報委員になってもらう ◇ 三大祭りを市民がツイッター使って広げる ◇ 若い人がまちづくりに興味を持つ仕掛け ◇ コミュニティ or 人、プロフェッショナルの流儀弥富版（学生が取材） ◇ 自治会や婦人会などの情報発信をもっと行う ◇ 広報の活用、キラリ弥富人リレー、普通の人の人となりの紹介 ◇ インスタグラム、ツイッター勉強会 ◇ 弥富いい人No.1、弥富人グランプリ ◇ 弥富市の名所を巡る観光ルートづくり ◇ バス等の交通アクセスの改善（財政問題） ◇ 行政の自治会に対する補助金⇒どの自治会利用したかわからない ◆ QR、VR 活用 ◆ SNS での発信、インターネットの活用 ◆ 特産 PR ◆ 情報掲示板、バーチャル ◆ 商店街で集う、活用 ◆ 歴史、史跡の活用 ◆ 勝手に表彰 ◆ 共同発信 ◆ コミュニティが情報発信
②おしゃれな行政	◇ 行政の人事評価に発信度をプラス ◆ 各地の特徴 ◆ 行政と市民をつなげる ◆ ありがとうカードを市全体に ◆ ありがとうカードをおしゃれに発信 ◆ 職員を私服、髪も自由、人事評価に！
③おしゃれな イベント・ お祭り	◇ 成人式など市の行事に関わる若者の実行委員会の発足（毎年恒例になると良い） ◇ 芝桜祭りをメイン祭りとして力を入れよう！ ◇ お祭り、山車全員集合！お祭り一体化 ◇ 芝桜の管理を行政と市民で協働して取り組む ◇ おしゃれアートフェス、おしゃれ談義 ◇ 秋祭りを地区じゃなく、市全体で山車集められないかな？ ◇ 鯨ヶ池、コスモス畑、ウォーキング大会、ツアー開催 ◇ 金魚しばりのマルシェ（金魚雑貨、金魚モチーフ食べもの）を開催！ ◇ 光のイルミネーションや花火等の行事、全国から注目を集めるイベント、金魚など特性を生かすもの ◆ お祭りを伸ばす！！→海南子どもの国などで祭り大会 ◆ 文鳥の資金⇒市と文鳥会の提携 ◆ お祭り一体化はコミュニティを活用 ◆ 芝桜＋健康フェスタ ◆ お祭りの合同、それぞれ意味がある

※◇はグループのメンバー内で話し合っただけの意見を表し、

◆は他のグループのメンバーも合流して話し合っただけの意見を表しています。

○おしゃれなトレセン	◇ 弥富トレセンの活用：地方競馬計画、若者も集まるおしゃれなスポットに！
○おしゃれな連携	◇ いろんな分野の組織が集まって。「弥富まちづくり会」をつくる ◇ コミュニティ連携、コミュニティ連携回は内容も発信、リアルタイム放送 ◇ 市とコミュニティの連携⇒定例会・報告会などを行う
○おしゃれな協働	◇ 子育て世代とおばあちゃん世代の交流 ◇ ボランティアを生かした名所案内、市民・地元の人と触れ合うコミュニティスポットづくり ◇ 農業体験をしたい若者と手伝って欲しいお年寄りをマッチングする（年間通じて交流） ◆ 弥富のイメージカラー、弥富の人はおしゃれだよ ◆ 遊び共有、昔（手遊び）⇔今（IT） ◆ 空き家、空き店舗 ◆ 集会所の解放（WiFi） ◆ おしゃれな場、集会所のリニューアル ◆ アプリ作成 ◆ スタンプラリー、スポット紹介
○おしゃれな施設	◇ おしゃれなまち→商店街の活性化 ◇ 各施設をインスタ映えするように色を派手にする ◇ 施設は機能性・価格だけでなくデザイン性の評価基準も ◇ ぬるイベント ◇ ヨーロッパの外観の建物を作る ◇ いろんな人が集まれる場所：子育てサロン、B型就労パン屋、認知症カフェ ◇ 金魚や鳥等自然や生き物と触れ合う新しいスポット作り、または今ある施設のPR活動 ◆ VR活用 ◆ おしゃれにJR建て直し



★特に重点的に取り組むこと

- ①行政の人事評価に発信度をプラス（市民も発信力の高い人を評価）
- ②お祭りを中心とした協働の街づくり
- ③計画的におしゃれな街へ！！（JR建て替え、トレセンを利用して）

3) 「人権・協働・行財政」分野における弥富市の目指す将来像

おしゃれ つながる ちょうどいい

(説明)

- いままでおしゃれを通してきた6グループ
- おしゃれに！トレセナー、JRー
- お洒落 語源：「戯れること」から転じている。機転が利き、気が利くことから垢抜けしている→楽しく発展
- 昔は心が豊かだった
- おしゃれ、誰もが居心地の良さ、温もりを感じるまち
- 美しいまち
- みんなでおしゃれに発信していこう！
- おしゃれ。たわむれる、気が利くが語源
- 人と人、行政と市民、さまざまなものがつながる
- 市民と行政が手を取り合うおしゃれな町やとみ
- つながる、市民みんながつながるつなげるまち
- 祭りでつながる！
- 世代、地区、コミュニティ、みんなつながる
- だれにとっても心地良くちょうどいいまち
- ちょうどいいのがやとみらしさ
- 産業、農業、自然、都市、みんなバランスがとれている